

第15回せいい看護学会学術集会 ーワークショップ1ー

未来の療養環境を考えよう！ デザイン思考で紡ぐ 看護×デザイン ワークショップ

企画・講師：静岡文化芸術大学 デザイン学部 デザイン研究科 教授 磯村 克郎

企画・運営：聖隷クリストファー大学 看護学部 准教授 炭谷正太郎

病院などで療養中の患者さんは日常生活に困りごとを抱えることが少なくありません。患者さんは病気を治すことなどを目的に入院されていますが、治療を適えるだけでなく、生活者としてもっと報われる療養環境を創造する必要があります。「未来の療養環境」には、患者さんの治療を適える「療養」と、「生活者」としてがまんを強いることがない環境づくりが求められます。

このワークショップでは、看護師、物作りの企業、看護学部の学生・教員、デザイン学部・研究科の学生24名が6人のグループに分かれて取り組みました。力をあわせて患者さんが抱く生活者としての困りごとを解決する療養環境のアイデアを考え、簡単なイラスト作成やペーパープロトタイピングをととしてデザイン思考によるワークショップを体験しました。

デザイン思考（Design Thinking）とは、デザインの思考プロセスを他分野へ活用する考え方の1つです。また、ペーパープロトタイピングとは、デザイン検討の過程で、時間やコストをかけず迅速に紙でアイデアを視覚化、立体化することにより、その評価やフィードバック、価値共有を行うものです。

グループでペーパー模型を作成し、発表した際には斬新な発想に感心し歓喜の声があがりました。

患者さんのプライバシーと安全な療養生活を両立するアイデアや患者さんが我慢しないで思いを伝えやすくなる環境作りなどが提案されました。最後に、みんなのアイデアを合体した病院環境ができました。

